

令和8年度

事業概要



宮城県立仙台高等技術専門校

宮城県仙台人材開発センター

〒983-0021 仙台市宮城野区田子一丁目4番1号

TEL 022-258-1151(代)

FAX 022-258-5152

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-kougi/>

E-mail sdkogs@pref.miyagi.lg.jp



校 訓

1. 責 任

2. 誠 実

3. 安 全

▼校章の由来▼

仙台萩の葉と仙台の「仙」の字で仙台のイメージを表し、コンパスと T 定規を図案化して VT (Vocational Training=職業訓練) を3方に表すとともに、統合された3つの訓練施設 (宮城県工業技術職業訓練所・木材工芸職業訓練所・仙台職業訓練所) と3つの校訓 (責任・誠実・安全) を表現している。

目 次

I 宮城県立仙台高等技術専門校

1 概 要

(1) 総 説	1
(2) 組 織	3
(3) 職 員	3

2 令和8年度訓練実施計画

(1) 普通課程	4
① 訓練定員及び学生数等	4
② 出身校別学生数	5
③ カリキュラム	7
(2) 短期課程	11

3 令和7年度訓練実績

(1) 普通課程	12
(2) 短期課程	13
(3) 無料職業紹介業務(普通課程及び施設内訓練の短期課程)	14

II 宮城県仙台人材開発センター

1 概 要

(1) 総 説	15
(2) 組 織	15
(3) 利用実績	15
(4) 施 設	16

III 参 考 資 料

仙台高等技術専門校の沿革	17
旧職業訓練所の沿革	19
仙台高等技術専門校各科修了生一覧	21
施設及び校内配置図	22

I 宮城県立仙台高等技術専門校

1 概 要

(1) 総 説

① 設置目的

本校は、職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設である。昭和39年（1964年）に設置され、現在、県内に5校ある高等技術専門校の中核的総合職業訓練施設となっており、開校以来の施設内訓練修了者総数（在職者訓練等は除く）は、約13,500名を数えている。

高等学校等を卒業して、これから就職しようとする方や、転職して新しい職業に就こうとする方に対し、希望する職業に必要な技能や知識及び職業人としての心構えを習得させ、自立した社会生活を送れるように支援することを目的としている。

また、在職者のために、仕事に必要な新たな知識・技能を習得していただくための訓練を実施する他、平成21年度から民間教育訓練施設等へ訓練を委託し、離職者の方に再就職に必要な知識・技能を習得していただく離職者等再就職訓練も実施している。

② 運営方針

- ◇ 普通課程においては修了後即戦力となる技術を習得できるよう、実技を中心とした実践的訓練を行う。
- ◇ 各業界の人材育成上の課題に対応したカリキュラムを編成し訓練に反映する。
- ◇ 就職・職務の高度化に必要な各種資格・免許の取得のための実践的な指導を行う。
- ◇ 「無料職業紹介事業」による丁寧な職業相談・紹介を行う。
- ◇ 離職者等再就職訓練の円滑な実施に努め離職者の雇用促進を図る。

【令和8年度の運営について】

令和8年度入校者の入校率は53.3%となり、令和3年度及び令和4年度の75%から大きく後退した状況が続いている。この間、本校の主たる入校者となる高等学校新規卒業生数全体が1割程度減少したほか、大学への門戸が広がった結果、就職や能力開発機関への進路選択が減ったことが大きいものと思われる。

これは、本校に対する認知度及び理解度が未だ不十分であったことの証左でもあり、昨年度から取り組んでいる積極的な高校訪問、オープンキャンパス等の開催、SNSの活用など若年者に対する訴求力のあるPRをさらに推進し、また本校での学びの魅力をわかりやすく示すことなどにより、効果的に入学生確保対策を進める。就職対策については、景気が持ち直している中、団塊世代の引退と少子化の影響により、各業界において担い手や継承者の確保が大きな課題となっており、関係機関、業界団体等と密接な連携を図るとともに、企業が求める有能な人材の育成に向けた指導を行い、学生全員の就職を目指す。

訓練においては、計画的かつ安全で効率的な実施に努めることとし、新・宮城の将来ビジョンの理念「富県躍進」の実現に向け、地域の産業界に貢献できる人材の育成に努める。

県立高等技術専門校の再編整備については、新設校開設に向けて準備が着実に進められており、訓練生にとって魅力的な「高等技術専門校」が実現されるよう、校を挙げて事業の円滑な推進に関与・協力していく。

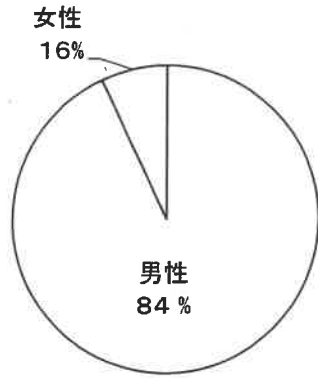
◎重点項目

- ◇ 入学生確保対策の強化
- ◇ 就職対策の強化
- ◇ 安全で効果的な訓練の実施
- ◇ 業界団体、企業等との連携の推進
- ◇ 円滑な委託訓練の実施
- ◇ 再編整備への関与・協力

【カリキュラム作成基本方針】

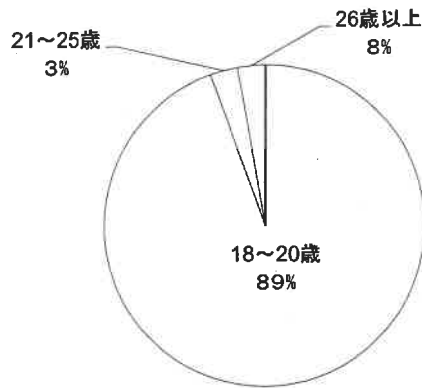
- ◇ 職業能力開発促進法の訓練基準に則り作成するとともに、各種養成施設の指定を受けている訓練科は各々の所轄省庁の基準を満たす内容とする。
- ◇ 学生の訓練への興味と探究心を持続させるため、知識と技能の関連づけを明確にする指導を行い、特に、実技においては「ものづくり」の楽しさや達成感を味わえるような訓練を展開する。
- ◇ 効率的な訓練で経費削減に努めるとともに、科の枠を超えたカリキュラム策定や、設備・資材の共同使用等により「ものづくり」を通じた訓練科間の横断型実習を実施する。
- ◇ 社会で活躍している技能・技術者等と交流を図り、「ものづくり」の魅力を学生に伝える。
- ◇ 企業が求める人材について積極的な情報収集を行い、即戦力となる人材の育成につなげるための訓練カリキュラムの編成や指導方法を工夫する。
- ◇ 各科実情に合わせながらインターンシップ制度を効果的に活用する。
- ◇ 災害対応も含め、安全衛生を最優先にした訓練を確実に行う。
- ◇ 訓練の早期に現場見学や事業所見学等を実施、専門職の職業観を醸成し、動機付けを行う。

入学者男女比（令和8年度普通課程）



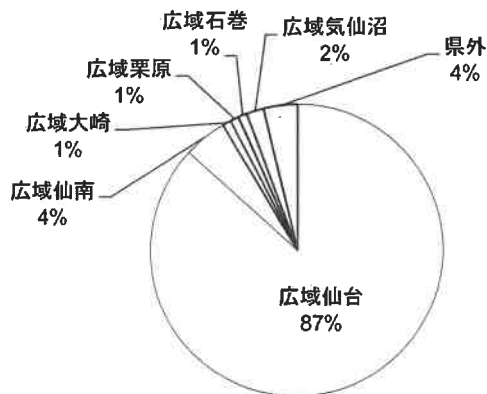
入学者総数は前年度より4名減の72名であった。
 女性の入学者数は前年度を7名下回る5名で、比率として16%となった。
 機械エンジニア科、電子制御システム科、建築製図科、塗装施工科に入学があった。

入学者年齢構成比（令和8年度普通課程）



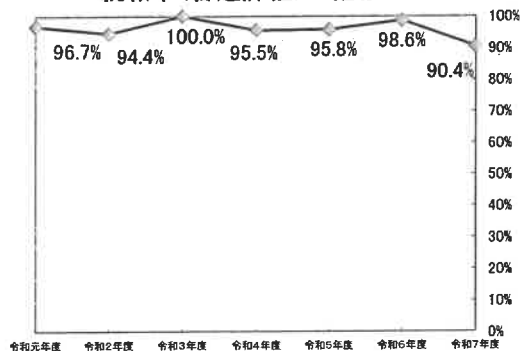
入学者の年齢構成比は20歳以下の割合が89%と昨年度と同率で、21歳~25歳、26歳以上のいずれも昨年と同様の結果であった。

出身地別（令和8年度普通課程）



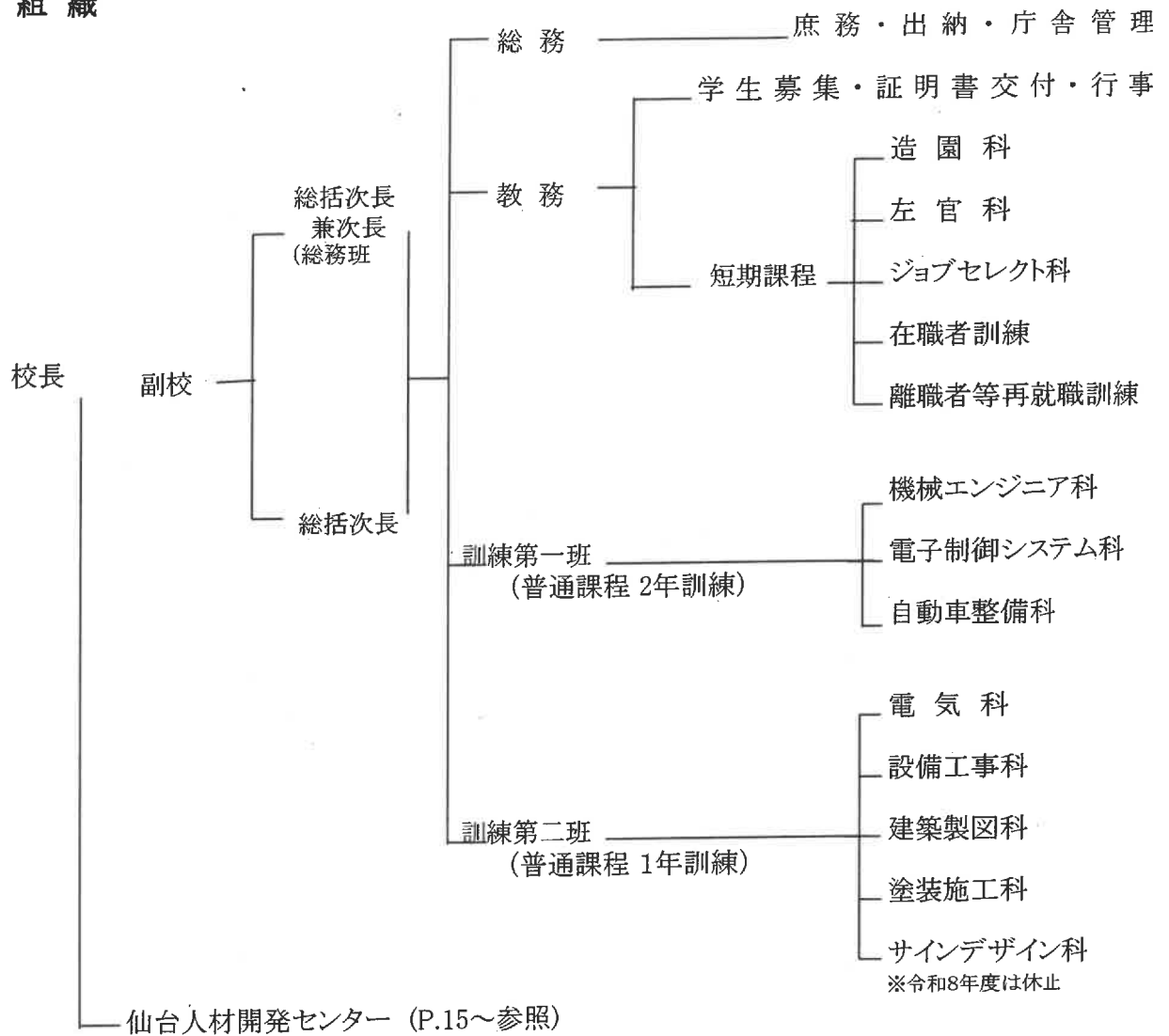
普通課程（7科106名）の出身地に占める広域仙台圏の割合は89%で昨年度と同率であった。広域仙台圏のうち仙台市内が占める割合は、61%であった。また県外から4%の入学があった。

就職率（普通課程）の推移



令和7年度は、経済・雇用状況が改善されたなかで、関係機関や業界団体等と密接な連携を図ったものの、訓練生の中には修了後の将来像が描けず、就労意欲が低迷したことから就職率が伸び悩んだ。

(2) 組織



(3) 職員

令和8年4月1日現在

区分 職名	校 長	副 校 長	総 括 次 長	総 務 班	教 務 班	訓 練 第 一 班	訓 練 第 二 班	計	備 考
職員（事務）	(1) 1	1	(1) 1	3	1			(2) 7	
職員（技術）			1		(1) 3	8	7	(1) 19	
会計年度 任用職員				1	11			12	向上訓練等推進員・委託訓練 ディレクター・コーディネーター 他
合 計	(1) 1	1	(1) 2	4	(1) 15	8	7	(3) 38	他に職業訓練講師

* ()は内数とし、仙台人材開発センター兼務職員を示す。

2 令和8年度訓練実施計画

(1) 普通課程

① 訓練定員及び学生数等

令和8年4月9日現在(単位:人)

訓練科	訓練定員	応募者数	学生数	性別		学歴別			年齢別			
				男	女	中卒	高卒	短大卒以上	18歳未満	18~20歳	21~25歳	26歳以上
機械エンジニア科 1年	15	16	11	10	1		11			11		
機械エンジニア科 2年	15	6	3	3			3			3		
電子制御システム科 1年	20	16	10	9	1		10			9	1	
電子制御システム科 2年	20	34	13	12	1		13			13		
自動車整備科 1年	20	34	21	21			21			20		1
自動車整備科 2年	20	27	18	18			17	1		15	2	1
電気科	20	16	12	12			12			11	1	
設備工事科	20	7	7	7			7			7		
建築製図科	20	6	4	2	2		4			3		1
塗装施工科	20	6	7	6	1		7			7		
サインデザイン科 ※令和8年度は休止	10											
合計	200	168	106	100	6	0	105	1	0	99	4	3

② 出身校別学生数

令和8年4月9日現在(単位:人)

学校名	科名	機械 1年	機械 2年	電子 1年	電子 2年	自動車 1年	自動車 2年	電気	設備	建築 製図	塗装 施工	計
飛鳥未来高校		1 (1)		1								2 (1)
泉松陵高校						1		2				3 (0)
角田高校				1								1 (0)
加美農業高校						1						1 (0)
黒川高校		1	1		3		2			1		8 (0)
気仙沼向洋高校		1	1					1 (1)				3 (1)
県工業高校						1						1 (0)
貞山高校							2		2			4 (0)
塩釜高校											1	1 (0)
柴田高校				1 (1)		1						2 (1)
白石工業高校					2							2 (0)
水産高校		1										1 (0)
星槎国際高校											1	1 (0)
聖和学園高校				1	1	1						3 (0)
仙台育英学園高校				2	1	3		1			1	8 (0)
仙台城南高校								1				1 (0)
仙台市立仙台工業高校		1				1 (1)	4					6 (1)
仙台市立仙台大志高校					1		1	2		1	2	7 (0)
仙台第三高校				1 (1)								1 (1)
仙台東高校								1				1 (0)
創学館高校									1			1 (0)
多賀城高校							1					1 (0)
田尻さくら高校						1	1					2 (0)
帝京科学大学								1 (1)				1 (1)
東北学院大学								1 (1)				1 (1)
東北高校		2		1	1	1		3	1		1	10 (0)
東北生活文化大学高校							1					1 (0)
名取高校				1	1		1					3 (0)

② 出身校別学生数

令和8年4月9日現在 (単位:人)

学校名	科 名											計
	機械 1年	機械 2年	電子 1年	電子 2年	自動車 1年	自動車 2年	電気	設備	建築 製図	塗装 施工		
名取高校定時制					1							1 (0)
日本航空高校							1					1 (0)
農業高校	3	1			5							9 (0)
広瀬高校			1		1			1	1			4 (0)
福島県立二本松実業高校					1							1 (0)
松島高校				1		1		2				4 (0)
美田園高校	1			1	1	1						4 (0)
明成高校						1						1 (0)
屋久島おおぞら高校									1			1 (0)
山形県米沢中央高校										1		1 (0)
山形県立寒河江工業高校				1 (1)								1 (1)
亘理高校					1							1 (0)
計	11 (1)	3 (0)	10 (2)	13 (1)	21 (1)	18 (2)	12 (1)	7 (0)	4 (0)	7 (0)	106 (8)	

※ () は既卒で内数

(単位:人)

学校別	県 内		県 外		計	
	校 数	学生数	校 数	学生数	校 数	学生数
高等学校等 (高校中退・高卒認定含む)	40	99	5	5	45	104
短大以上	1	1	1	1	2	2
計	41	100	6	6	47	106

③ カリキュラム

機械エンジニア科		2年課程	定員 15人
概要	汎用工作機械及びNC工作機械による機械加工や手仕上げ作業等により機械部品の加工及び組み立てを行うための知識と技能を習得する。		
	実 技	学 科	資 格 ・ 免 許
	<ul style="list-style-type: none"> 機械加工 (旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタ、NC旋盤、ターニングセンタ、形彫放電加工、ワイヤ放電加工) 手仕上げ 精密測定機器による測定 CAD/CAM等 機械保全 アーク溶接、ガス切断等 	<ul style="list-style-type: none"> 機械工学概論 電気工学概論 生産工学概論 機械工作法 材料 材料力学 製図 測定法 NC加工概論 金型工作法 精密加工法 機械加工法 安全衛生 機械保全法 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級技能検定試験受検資格 (職種:機械加工、機械検査、機械保全) 技能照査合格者は学科(機械保全を除く)が免除される。 ◇機械・自由研削といし取替え等の業務に係る特別教育修了証 ◇アーク溶接等の業務に係る特別教育修了証 ●3級技能検定試験(職種:機械加工、機械保全、機械検査)合格者は在学中に2級が受検可能 ●ガス溶接技能講習修了証

電子制御システム科		2年課程	定員 20人
概要	電子制御に必要な関連学科を習得し、分解・組立・調整及びプログラミング等ができるとともに、マイクロコンピュータを用いて各種制御ができる知識と技能を習得する。		
	実 技	学 科	資 格 ・ 免 許
	<ul style="list-style-type: none"> 測定基本実習 工作基本実習 コンピュータ操作基本実習 回路図作成基本実習 回路組立基本実習 安全衛生作業法 開発用機器操作実習 プログラム作成実習 コンピュータ制御システム設計実習 ネットワーク基本実習 	<ul style="list-style-type: none"> 生産工学概論 電気理論 電子工学 材料 製図 測定法 安全衛生 関係法規 コンピュータ概論 自動制御概論 システム設計概論 プログラム論 ネットワーク概論 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級技能検定試験受検資格 (職種:電子機器組立て) 技能照査合格者は学科が免除される。 ○工事担任者 (所定の試験合格者は受験資格の一部「基礎」科目が免除される) ●3級技能検定試験 (職種:電子機器組立て・シーケンス制御) 合格者は在学中に2級が受検可能 ●基本情報技術者 ●工事担任者 第一級デジタル通信

※○印は修了によって取得できる資格(特典)及び受験資格

※◇印は在学中に講習受講で取得できる資格

※●印は在学中に講習又は試験等で取得できる資格

自動車整備科		2年課程	定員 20人
概要	自動車整備に必要な機械及び器工具の取り扱いから自動車の構造・作動及び定期点検並びに故障原因探求の基礎までを学び、2級自動車整備士の試験に合格できる知識と技能を習得する。		
	実 技	学 科	資 格 ・ 免 許
	<ul style="list-style-type: none"> 手仕上及び機械工作 各種計測器による測定 自動車整備作業 (エンジン、シャシ、電気装置、電子制御装置) 自動車検査作業 故障原因探求 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の構造及び性能 (エンジン等、シャシ、電装) 整備法 (エンジン等、シャシ、電装、故障原因探求、電子制御装置) 電気及び電子理論 材料 自動車の力学 製図 関係法規 検査法 機器の構造及び取扱法 燃料及び潤滑剤 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級自動車整備士総合試験受験資格及び実技免除 ◇自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育修了証 ◇アーク溶接等の業務に係る特別教育修了証 ◇電気自動車等の整備業務に係る特別教育修了証 ●ガス溶接技能講習修了証

電気科		1年課程	定員 20人
概要	電気工事士に必要な基礎知識及び住宅、ビル工場等の電気工事の施工、保守管理ができる知識と技能及び、電気通信設備施工及び消防設備施工・整備に関する知識・技能を習得する。		
	実 技	学 科	資 格 ・ 免 許
	<ul style="list-style-type: none"> 電灯の屋内配線工事 動力の屋内配線工事 引込み線工事 測定試験 電気機器制御 自動制御回路 コンピュータ基本操作 	<ul style="list-style-type: none"> 電気理論 電気工事 自動制御概論 電気機器 電気材料 電力工学 電気応用 送配電及び配線設計 測定法及び試験法 設計図・施工図 製図 安全衛生 材料及び器工具 関係法規 生産工学 	<ul style="list-style-type: none"> ○第2種電気工事士 (修了時申請により免状取得) ○2級技能検定試験受験資格 (職種:電気機器組立て) 技能照査合格者は学科が免除される。 ◇自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育修了証 ◇足場の組立て等の業務に係る特別教育修了証 ◇低圧電気取扱業務に係る特別教育修了証 ◇フルハーネス等特別教育修了証 ●玉掛け技能講習修了証 ●小型移動式クレーン運転技能講習修了証 ●高所作業車運転技能講習修了証 ●第1種電気工事士(合格証取得) ●3級技能検定試験 (職種:電気機器組立て)

※○印は修了によって取得できる資格(特典)及び受験資格

※◇印は在学中に講習受講で取得できる資格

※●印は在学中に講習又は試験等で取得できる資格

設備工事科			1年課程	定員 20人
概要	一般住宅及び中高層建築物の配管図の読図ができるとともに、給排水・ガス設備・暖冷房設備等の施工ができ、修了時には各種資格が取得できる程度の知識と技能を習得する。			
実 技	学 科	資 格 ・ 免 許		
<ul style="list-style-type: none"> ・器工具使用法 ・各種管の接合・加工 ・給排水・衛生設備配管 ・冷暖房設備配管 ・検査実習 ・ガス溶接実習 ・アーク溶接実習 ・ろう付け実習 ・CAD操作実習 ・液化石油ガス設備士実技講習 ・安全衛生作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管概論 ・配管施工法 ・建築設備機器概論 ・建築製図 ・機械及び電気工学概論 ・溶接法 ・空調設備 ・液化石油ガス設備士講習 ・生産工学概論 ・建築構造 ・設備製図 ・仕様・積算 ・給排水設備 ・安全衛生 ・環境工学 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級技能検定試験受検資格 (職種:建築配管) 技能照査合格者は建築配管作業の受検の際に学科試験が免除される。 ◇自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育修了証 ◇アーク溶接等の業務に係る特別教育修了証 ●3級技能検定試験 (職種:冷凍空気調和機器施工) ●液化石油ガス設備士 (講習修了試験に合格し、申請が必要) ●ガス溶接技能講習修了証 		

建築製図科			1年課程	定員 20人
概要	建築に関する基礎知識と、木造建築物を主体とした、手描きとCADでの設計・製図ができる技能を習得する。			
実 技	学 科	資 格 ・ 免 許		
<ul style="list-style-type: none"> ・木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の各種設計図面・施工図面作成 ・測量 ・建築積算実習 ・CAD操作実習 ・機械操作基本実習 ・安全衛生作業 ・応用設計製作実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画 ・建築構造及び材料 ・建築設備 ・構造力学 ・測量 ・関係法規 ・建築生産 ・建築施工 ・安全衛生 ・建築概論 ・建築製図 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級建築士試験受験資格 ◇足場の組立て等の業務に係る特別教育修了証 ●建築CAD検定試験(3級・2級) ●玉掛け技能講習修了証 ●小型移動式クレーン運転技能講習修了証 ●建築積算士補 ●2級建築施工管理技術検定(第一次検定のみ) 		

※○印は修了によって取得できる資格(特典)及び受験資格

※◇印は在学中に講習受講で取得できる資格

※●印は在学中に講習又は試験等で取得できる資格

塗装施工科		1年課程	定員 20人
概要	各種塗装素材(建築物、金属製品、木工製品など)に応じた塗装用器工具や塗装用機械を使用した下地処理から上塗りまでの一貫作業ができるとともに、調色調合及び色彩調節等が行える程度の技能及び関連知識を習得する。		
実 技	学 科	資 格 ・ 免 許	
<ul style="list-style-type: none"> ・塗装用機器操作実習 ・調色実習 ・建築物塗装・足場実習 ・塗料・塗膜検査実習 ・金属及び木工製品塗装実習 ・安全衛生作業法 ・デザイン基本実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産工学概論 ・デザイン概論 ・塗料概論 ・塗装法 ・塗装設備及び機器 ・関係法規 ・試験法 ・仕様及び積算 ・建築構造 ・安全衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ○2級技能検定試験受検資格 (職種:全塗装職種) 技能照査合格者は学科が免除される。 ◇自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育修了証 ◇足場の組立て等の業務に係る特別教育修了証 ◇フルハーネス等特別教育修了証 ●乙種4類危険物取扱者 ●有機溶剤作業主任者 ●酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 ●高所作業車運転技能講習修了証 	

※○印は修了によって取得できる資格(特典)及び受験資格

※◇印は在学中に講習受講で取得できる資格

※●印は在学中に講習又は試験等で取得できる資格

(2) 短期課程

令和8年4月1日現在 (単位:人)

区分	訓練の種類	訓練科	回数	定員 (延べ)	訓練期間等	備考
普通訓練	学卒・離職者訓練	造園科	1	10	6か月	
		左官科	1	10	6か月	
	離職者訓練	ジョブセレクト科	2	10	1~10日間	※入学時に希望した科による
	小計		4	30		
技能向上訓練	在職者訓練	機械加工科(精密測定技術)	1	5	18時間	
		IT実務科(Python入門)	1	10	12時間	
		IT実務科(RPA入門)	1	10	12時間	
		自動車整備科(自動車電気基礎)	1	6	12時間	
		電気工事基礎科	1	10	12時間	
		配管基礎技能科	2	20	12時間	
		塗装施工科	1	10	12時間	
小計		8	71			
離職者等再就職訓練	長期高度人材育成コース	介護福祉士養成科	1	6	2年	4月開始(2年課程の1年生)
		介護福祉士養成科	1	6	2年	4月開始(2年課程の2年生)
		保育士養成科	1	16	2年	4月開始(2年課程の1年生)
		保育士養成科	1	15	2年	4月開始(2年課程の2年生)
		IT技術者養成科	1	3	2年	4月開始(2年課程の1年生)
		IT技術者養成科	1	3	2年	4月開始(2年課程の2年生)
	知識等習得コース	医療事務科	2	40	3か月	6月、11月に開始予定
		PC基礎科	13	291	3か月	4月~翌年3月に開始予定
		経理事務科	2	46	6か月	5月、12月に開始予定
		経理基礎科	2	40	3か月	7月、翌年2月に開始予定
		介護職員初任者研修科	1	10	3か月	8月に開始予定
		介護職員初任者研修科(2ヶ月)	1	10	2か月	11月に開始予定
		ITパスポート科	2	30	3か月	7月、12月に開始予定
		Javaプログラマー養成科	2	20	6か月	6月、翌年2月に開始予定
	Excel VBA科	2	30	3か月	7月、翌年1月に開始予定	
小計		33	566		長期高度人材育成コースの2年生3コース24人を含む	
計		45	667			

3 令和7年度訓練実績

(1) 普通課程

令和8年3月31日現在 (単位:人)

区分	訓練科名	訓練定員	合格者数	入学者数	中退者数	うち就職	修了者数	就職者数	区分		自営	進学他	未定	就職率(%)	進級者数	
									県内	県外						
普通課程	機械エンジニア科 (機械系精密加工科)	1年	15	5	5	2										3
		2年	15	(1) 8	(1) 8		2	(1) 6	5	5			(1) 1		100.0	
	電子制御システム科 (電気・電子系コンピュータ制御科)	1年	20	(1) 17	(1) 17		4									(1) 13
		2年	20	(2) 11		(1) 11	3	(1) 8	6	2	4		(1) 2		100.0	
	自動車整備科 (第2種自動車系自動車整備科)	1年	20	21	20	2										18
		2年	20	19	19	4		15	13	11	2			2	86.7	
	電気工事科 (電力系電気工事科)	20	(1) 9	(1) 9		0		(1) 9	(1) 9	(1) 9					100.0	
	設備工事科 (設備施工系配管科)	20	5	4	0		4	4	3	1					100.0	
	建築製図科 (建築施工系建築設計科)	20	(9) 16	(9) 16	(5) 7		(4) 9	(3) 6	(3) 4		2		(1) 1	2	75.0	
	塗装施工科 (塗装系建築塗装科)	20	(1) 6	(1) 5		0	(1) 5	(1) 4	(1) 4					1	80.0	
サインデザイン科 (デザイン系広告美術科)	10															
合計	200	(15) 117	(13) 114	(6) 24		(8) 56	(5) 47	(5) 38	0 9	0 0		(3) 4	0 5	90.4	(1) 34	

* 訓練科名欄()は、職業能力開発促進法施行規則別表第2の訓練科名、訓練人数欄()は女子で内数である。

* 2年欄の入学者数は進級者数である。

* 中退者数には休学者数を含む。

* 就職率=(就職者数)/(修了者数-進学他)

(2) 短期課程

令和8年3月31日現在 (単位:人)

区分	訓練の種類	訓練科	訓練員	入学者数	中退者数	修了者数	就職者数	備考
普通訓練	学卒・離職者訓練	造園科	10	10	0	10	10	6か月訓練
		左官科	10	1	0	1	0	6か月訓練
	離職者訓練	ジョブセレクト科	10	1	0	1	0	10月:1か月訓練 2月:1~8日間
	小計			30	12	0	12	10
技能向上訓練	在職者訓練	CAD操作入門科	10	10	0	10	-	12時間訓練 年1回
		IT実務科 (python入門)	10	5	0	5	-	12時間訓練 年1回
		IT実務科 (RPA入門)	10	4	0	4	-	12時間訓練 年1回
		機械加工科 (精密測定技術)	5	10	0	10	-	12時間訓練 年1回
		自動車整備士基礎科	6	0	0	0	-	12時間訓練 年1回
		電気工事基礎科	10	8	0	8	-	12時間訓練 年1回
		塗装技術科	10	5	0	5	-	12時間訓練 年1回
		配管技術科	10	8	0	8	-	12時間訓練 年1回
	小計			71	50	0	50	-
離職者等再就職訓練	時短コース (育児等との両立に配慮した 再就職支援コース)	PC基礎科	15	7	0	7	6	7月実施分就職者数
	長期高度 人材育成コース	介護福祉士養成科	6	3	1	2	1	2年課程の2年生
		介護福祉士養成科	6	1	0	-	-	2年課程の1年生
		保育士養成科	17	9	0	9	9	2年課程の2年生
		保育士養成科	16	11	0	-	-	2年課程の1年生
		IT技術者養成科	3	3	2	1	1	2年課程の2年生
		IT技術者養成科	3	3	0	-	-	2年課程の1年生
	知識等習得コース	医療事務科	20	20	3	17	17	7月実施分就職者数
		PC基礎科	322	245	16	185	115	4~12月実施分就職者数
		ITサポート科	45	23	1	13	11	7月実施分就職者数
		Javaプログラマー養成科	30	15	1	6	4	6月実施分就職者数
		ExcelVBA科	45	27	4	15	12	7.8月実施分就職者数
		経理事務科	46	45	16	11	17	5月実施分就職者数
		経理基礎科	69	52	3	35	19	7.10月実施分就職者数
		介護職員初任者研修科	45	30	2	29	16	6.9.12月実施分就職者数
小計			688	494	49	330	228	長期高度人材育成コースの 2年生3コースを含む
計			789	556	49	392	238	

* 離職者等再就職訓練の就職者数は、訓練修了後3か月経過したコースの人数を記載している。
 * 長期高度人材育成コース、医療事務科、PC基礎科、ITサポート科、Javaプログラマー養成科、経理事務科、経理基礎科、介護職員初任者研修科、ビジネススキル基礎科には3月末時点で未修了コースが含まれており、訓練科の修了者数は3月末現在の人数を記載している。

(3) 無料職業紹介業務(普通課程及び施設内訓練の短期課程)

令和8年3月31日現在 (単位:人)

区分	訓練科名	修了者数	求職者数	求人件数		求人数		就職者数		自営	進学他	未定	
				管内	管外	管内	管外	管内	管外				
普通課程	機械エンジニア科	6 (1)	5	管内	20	26	5				1 (1)		
				管外	15	27							
				計	35	53	5						
	電子制御システム科	8 (1)	6	管内	11	22	2					2 (1)	
				管外	4	8							
				計	15	30	2						
	自動車整備科	15	15	管内	31	98	11						2
				管外	3	6							
				計	34	104	11						
	電気科	9 (1)	9 (1)	管内	47	90	8 (1)						
管外				18	31	1							
計				65	121	9 (1)							
設備工事科	4	4	管内	36	61	3							
			管外	1	1								
			計	37	62	3							
建築製図科	9 (4)	8 (3)	管内	25	44	4 (3)					1 (1)	2	
			管外	10	20								
			計	35	64	4 (3)							
塗装施工科	5 (1)	5 (1)	管内	11	18	3						1	
			管外	5	9	1 (1)							
			計	16	27	4 (1)							
サインデザイン科	-	-	管内										
			管外										
			計										
小計		56 (8)	52 (5)	管内	181	359	36 (4)						
				管外	56	102	2 (1)						
				計	237	461	38 (5)						
				計	428	745	47 (5)		4 (3)	5			
短期課程	造園科	10 (2)	9 (2)	管内	1	5	5 (2)			1			
				管外			4						
				計	1	5	9 (2)						
	左官科	1	1	管内	2	2						1	
管外													
計				2	2								
小計		11 (2)	10 (2)	管内	3	7	5 (2)						
				管外			4						
				計	3	7	9 (2)						
				計	6	10	9 (2)	1					1
合計		67 (10)	62 (7)	管内	184	366	41 (6)						
				管外	56	102	6 (1)						
				計	240	468	47 (7)						
				計	434	755	56 (7)	1	4 (3)				6

* ()は女子で内数である。

* 管内は、仙台公共職業安定所管内(大和出張所を含む。)

* 無料職業紹介事業は、H2.4.1から開始。

* 求職者数=修了者-自営-進学

Ⅱ 宮城県仙台人材開発センター

1 概要

(1) 総説

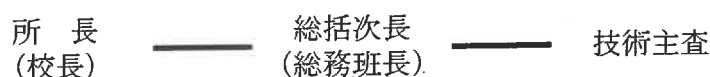
職業訓練に関する地域の中核機関として、昭和50年4月1日に宮城県立仙台高等技術専門校内に併設された。

教育機関、職業安定機関、産業界その他職業訓練関係者との密接な連携を保ち、地域の需要に即した技能労働者の育成と技術向上の総合サービスを行うことにより、職業訓練及び技能検定の振興に寄与することとしている。

【業務内容】

- (1) 技能労働者に対する技能の維持向上のための訓練・研修等の実施
- (2) 事業主の行う教育訓練に対する施設設備の貸与及び技術援助
- (3) 技能検定及び技能競技会等への施設設備の貸与
- (4) 職業訓練及び技能検定に関する情報提供及び相談
- (5) その他職業訓練及び技能検定に関し必要な業務

(2) 組織



(3) 利用実績

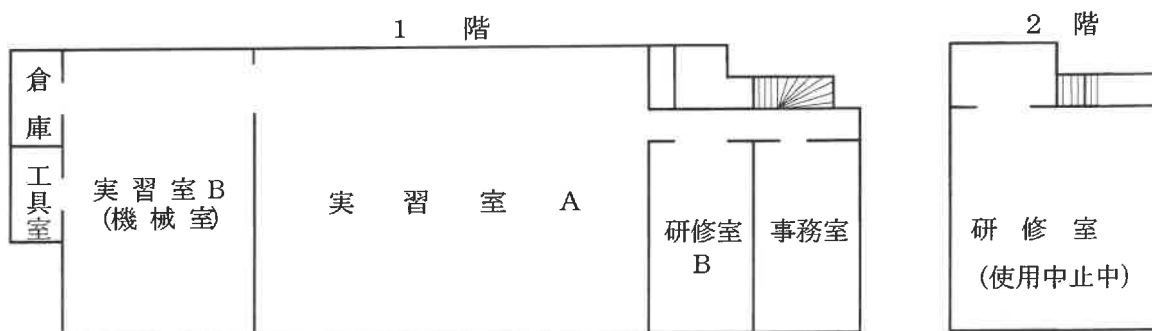
令和8年3月31日現在

区分 月別	施設・設備の提供援助						訓練 (技能追加習得・講習)			合計		
	一般(団体事業所)			技能検定関係			使用許可件数	利用数	延べ人数	使用許可件数	利用数	延べ人数
	使用許可件数	利用数	延べ人数	使用許可件数	利用数	延べ人数						
4	0	0	0	1	0.5	8	0	0	0	1	0.5	8
5	0	0	0	0	0	0	1	2	52	1	2	52
6	0	0	0	5	3.5	62	0	0	0	5	3.5	62
7	1	2.5	90	2	4.5	110	1	1	16	4	8	216
8	1	1	23	1	0.5	7	1	2.5	32	3	4	62
9	0	0	0	0	0	0	1	1	5	1	1	5
10	0	0	0	1	1	8	0	0	0	1	1	8
11	0	0	0	1	1	13	1	1.5	17	2	2.5	30
12	0	0	0	2	3	67	0	0	0	2	3	67
1	1	1.5	19	4	4	128	1	0.5	35	6	6	182
2	0	0	0	3	3.5	34	2	2	35	5	5.5	69
3	0	0	0	1	0.5	8	0	0	0	1	0.5	8
計	3	5	132	21	22.0	445	8	10.5	192	32	37.5	769

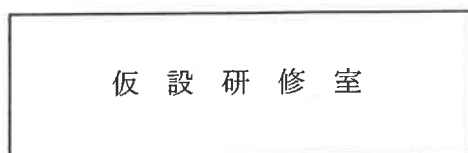
(4) 施設

① 敷地面積	1,567 m ²
② 建物	
イ 本館	
イ) 建物構造及び床面積	
鉄骨造平屋一部2階建	919 m ²
内 訳	
1 階	713 m ²
2 階	206 m ²
ロ) 内部施設	
事務室	74 m ²
研修室 B	74 m ² (36人用)
実習室 A	344 m ²
実習室 B	122 m ² (機械室)
工具室	16 m ²
倉庫	16 m ²
研修室 (使用不可)	181 m ² (120人用)
ロ 仮設棟	
イ) 建物構造及び床面積	
プレハブ造平屋	119 m ²
ロ) 内部施設	
仮設研修室	119 m ²

【本館の配置図】



【仮設棟の見取図】 (119 m²)



III 参 考 资 料

仙台高等技術専門校の沿革

昭和39年7月1日	旧宮城県工業技術職業訓練所、旧木材工芸職業訓練所、旧仙台職業訓練所を統合し、宮城県仙台職業訓練所として、仙台市田子字寺1番地に新設(機械科、溶接科、自動車整備科、電工科、電気機器科、配管科、製材機械科、配筋科、建築科、塗装科、洋裁科、洋服科、事務科、活版印刷科、理容科の計15科) 定時制(溶接科、自動車整備科)実習場倉庫等完成
昭和40年3月31日	洋裁科、洋服科、事務科廃止
同年4月1日	ミシン縫製科、自動車運転科(転訓)増設
昭和41年3月31日	理容科、定時制溶接科、定時制自動車整備科廃止 自動車運転科(転訓)廃止
昭和42年4月1日	電工科を第一電気科、電気機器科を第二電気科、配筋科を鉄筋建築科、活版印刷科を印刷科に改称
同年10月2日	寄宿舍第一期工事完成
昭和43年3月25日	寄宿舍完成
同年7月6日	本館第一期工事完成
昭和44年3月31日	本館完成
同年10月1日	職業訓練法の改正に伴い宮城県立仙台専修職業訓練校と改称し、第一電気科を電気工事科、第二電気科を電気機器科、鉄筋建築科を鉄筋科、製材機械科を製材機械整備科、ミシン縫製科を縫製科、印刷科を製版印刷科に改称
昭和45年4月1日	左官科を新設
昭和46年4月1日	電気機器科を廃止し、電子機器科を新設
昭和47年1月25日	体育館完成
昭和47年4月1日	製材機械整備科を廃止し、建築製図科を新設
昭和49年4月1日	宮城県立仙台高等技術専門学校と改称し、新たに高等課程(高卒コース)を設け、建築製図科に加えて電子測定科、測量技術科、写真印刷科、広告美術科を新設、電子機器科を廃止、製版印刷科を印刷科に改称
昭和50年3月31日	鉄筋科を廃止
同年4月1日	商業デザイン科を宮城県立塩釜高等技術専門校から移設 縫製科を洋裁科と改称 仙台人材開発センター設置
昭和52年4月1日	電気設備科を電気工事科、電子測定科を電子機器科、測量技術科を測量科、印刷科を製版印刷一科、写真印刷科を製版印刷二科、商業デザイン科をデザイン科に改称
昭和53年4月1日	宮城県立仙台高等技術専門校と改称 自動車整備科を自動車整備一科とし、自動車整備二科を新設
昭和54年4月1日	電気工事科、自動車整備科を専修訓練課程から普通課程へ移行
昭和56年3月31日	測量科を廃止
昭和57年4月1日	インテリア・サービス科を宮城県立石巻高等技術専門校から移設
昭和59年4月1日	配管科を専修訓練課程から普通課程へ移行
昭和60年4月1日	配管科を設備工事科(配管科)に改称
昭和61年3月31日	製版印刷一科(能開一般)、機械科、塗装科(随時)を廃止
同年4月1日	機械科を専修訓練課程から普通課程へ移行

昭和62年3月31日	溶接科(随時)を廃止
同年4月1日	電子機器科を電子制御システム科(マイクロコンピュータ制御システム科)に改称
平成2年3月31日	溶接科、製版印刷科、デザイン科を廃止 実習棟建替決定
同年4月1日	塗装科を専修訓練課程から普通課程(一類)へ移行 自動車整備科を2年制に移行 無料職業紹介業務開始
平成3年4月1日	電子制御システム科を2年制に移行 電気工事科を電気科に改称
平成4年3月31日	建築科、配管科(能開)廃止
同年4月1日	機械科をNC機械科に改称
同年7月31日	仮設実習棟新築
同年11月20日	仮設実習棟増築
同年12月20日	実習棟改築工事(第一期工事)着工
平成5年11月30日	新実習棟(4号館)完成
平成6年2月18日	第二期工事(3号館)着工
同年11月30日	新実習棟(3号館)完成
平成7年2月8日	第三期工事(2号館)着工
同年11月30日	新実習棟(2号館)完成
平成8年2月25日	第四期工事(1号館)着工
同年4月1日	洋裁科を専修訓練課程から普通課程へ移行 左官科を専修訓練課程から短期課程へ移行
同年11月30日	第四期工事(1号館)完成
平成10年3月31日	外構工事完成
同年4月1日	NC機械科を精密機械加工科、洋裁科をファッションビジネス科に改称
平成14年4月1日	左官科をエクステリア科に改称 仙台高等技術専門校幸町校舎(旧婦人就業援助センター)開設
平成17年3月31日	仙台高等技術専門校幸町校舎廃止 寄宿舍廃止
同年4月1日	建築塗装科(短期課程)を新設
平成18年3月31日	塗装科を廃止
同年4月1日	塗装施工科(普通課程)を新設 広告美術科を広告看板科に改称
平成20年4月1日	精密機械加工科を機械エンジニア科、エクステリア科を左官科に改称 機械エンジニア科を2年制に移行
平成22年3月31日	左官科(短期課程)を休止
平成23年3月31日	建築塗装科(短期課程)を廃止
平成25年3月31日	インテリア・サービス科を廃止 ファッションビジネス科を廃止 左官科(短期課程)を廃止
平成26年4月1日	左官科(短期課程)を再開
令和3年4月1日	広告看板科をサインデザイン科に改称
令和3年4月1日	ジョブセレクト科(短期課程)を新設

旧職業訓練所の沿革

(旧) 工業技術職業訓練所

昭和16年12月1日	仙台国民職業指導所機械工補導所として仙台市荒町86番地に設立(旋盤科、仕上科)
昭和18年4月1日	仙台機械工補導所に改称
昭和19年4月1日	宮城県機械工補導所に改称
昭和20年4月1日	宮城県復員職業補導所に改称(鍛造科)
昭和21年1月25日	宮城県仙台職業補導所に改称
同 年11月1日	宮城県機械工職業補導所に改称
昭和22年4月1日	旋盤科増設
昭和23年4月1日	宮城県機械工公共職業補導所に改称
昭和24年4月1日	機械工公共職業補導所、電気技工公共職業補導所、塩釜内燃機公共職業補導所を統合、宮城県工業技術公共職業補導所に改称(機械工作科、溶接鍛造科、電力科、電気機器科、自動車修理科)
同 年7月1日	仙台市北六番丁175番地に新設移転
昭和27年4月1日	定時制経理事務科増設
昭和28年3月31日	定時制経理事務科廃止
同 年4月1日	3科名改称、機械科、電工科、自動車整備科
昭和30年10月1日	定時制溶接科増設
昭和32年8月1日	定時制小型自動車整備科増設
同 年10月15日	定時制配管科増設
昭和33年3月31日	溶接鍛造科廃止(宮城総訓に移管)
同 年7月1日	宮城県工業技術職業訓練所に改称
同 年9月30日	自動車整備科廃止(宮城総訓に移管)
昭和34年11月30日	電工科、電気機器科廃止(宮城総訓に移管)
昭和36年3月31日	機械科廃止(宮城総訓に移管)
同 年4月1日	配管科、電工科増設
昭和37年3月31日	定時制配管科廃止
同 年4月1日	定時制小型自動車整備科を定時制自動車整備科に変更
同 年10月1日	自動車整備科増設(転職訓練)
昭和38年10月1日	配管科増設(転職訓練)
昭和39年6月30日	宮城県工業技術職業訓練所廃止

(旧) 木材工芸職業訓練所

昭和21年3月1日	宮城県建築技能者短期養成所(6か月)として、仙台市二十人町通りに設立
同年7月1日	宮城県建築技能者養成所に改称
昭和23年4月1日	宮城県建築公共職業補導所に改称
昭和24年8月28日	仙台市北四番丁167番地に新築移転
昭和27年4月1日	木工科増設
同年6月13日	宮城県木材工芸公共職業補導所に改称
同年6月30日	仙台市原町小田原字中原上1番地に一部新築移転
昭和32年11月15日	定時制鋸目立科増設
昭和33年7月1日	宮城県木材工芸職業訓練所に改称
昭和34年3月31日	木工科廃止(宮城総訓に移管)
昭和35年9月1日	定時制鋸目立科を全日制に改める
昭和36年4月1日	鋸目立科を製材機械科に改称
昭和38年10月1日	塗装科(転職訓練)を増設
昭和39年6月30日	宮城県木材工芸職業訓練所廃止

(旧) 仙台職業訓練所

昭和18年2月8日	傷痍軍人職業教育所(仙台市長町木場東1番地)に設立
昭和20年8月15日	終戦のため廃止
昭和21年10月29日	宮城県洋裁職業補導所として仙台市長町木場東1番地に設立
昭和23年4月1日	宮城県洋裁公共職業補導所に改称
昭和24年4月1日	宮城県通訳タイピスト公共職業補導所(昭和21年12月16日仙台市荒町86番地に設立)を統合し、宮城県女子公共職業補導所に改称(洋裁、英文タイプ科)
昭和27年3月1日	洋服科増設
昭和28年3月31日	英文タイプ科廃止
同年4月1日	洋服科を男子服科に改称 経理事務科増設
昭和33年7月1日	宮城県女子職業訓練所に改称(洋裁科、男子服科、経理事務科)
昭和34年4月1日	男子服科を洋服科に改称
昭和35年12月1日	仙台市南小泉字南屋敷112番地に移転
昭和36年4月1日	宮城県理容職業訓練所(同上番地所在)を統合し、宮城県仙台職業訓練所に改称 (洋裁科、洋服科、経理事務科、理容科)
昭和37年4月1日	経理事務科を廃止し事務科を増設
昭和39年6月30日	宮城県仙台職業訓練所廃止

